

■がん放射線治療■

【調査対象の基準】この質問用紙は、日本放射線腫瘍学会認定放射線治療施設の、旧認定施設、旧準認定施設、旧認定協力施設とがん診療連携拠点病院の461施設にお送りしております。放射線部門の治療責任者の方にお渡しください。

※Q1～Q3は、日本放射線腫瘍学会(JASTRO)の全国放射線治療実態調査記入票に準拠した設問にしています。登録されたものと同じ数字をご記入ください。

Q1. 貴院における放射線治療部門の実績についておたずねします。

2013年1月～12月に開始された悪性腫瘍に対する放射線治療のうち、新規患者の人数と実人数をご記入ください。実人数のうち、脳転移および骨転移治療患者実人数の合計をご記入ください。

①□放射線治療部門の新規患者数（新患実人数）	758 人
② 放射線治療患者実人数（新患＋再患）	875 人
うち、脳転移および骨転移治療患者実人数	人

※ 「新規患者数（新患実人数）」とは、貴部門で初めて放射線治療を受けた患者数をいいます。相談のみなど、実際に照射を実施しなかった患者は除きます。なお、多重がん患者の場合は同一患者でも複数カウントとしてください。

Q2. 貴院における放射線治療部門の部位別照射の実績についておたずねします。

上記のQ1でおたずねした2013年1月～12月の「①放射線治療部門の新規患者数」について、下記の原発巣別新規患者数をご記入ください。

1. 脳・脊髄	79 人
2. 頭頸部（甲状腺含む）	104 人
3. 食道	54 人
4. 肺	81 人
5. 乳腺	106 人
6. 婦人科	60 人
7. 前立腺	66 人

※ 4については「肺・気管・縦隔」のうち「肺」のみ、7については「泌尿器系」のうち「前立腺」のみの患者数をご記入ください。

Q3. 貴院におけるIMRT（強度変調放射線治療）の実施状況についておたずねします。

(1) 貴院はIMRTを導入していますか？

1. 導入している	2. 導入していない	3. 2014年以降に導入
-----------	------------	---------------

(2) 「1. 導入している」とお答えの医療機関におたずねします。2013年1月～12月にIMRT照射を実施した実人数（新患＋再患）をご記入ください。

IMRTを実施した実人数（新患＋再患）	151 人
---------------------	-------

Q4. 貴院における放射線治療部門のスタッフ数などについておたずねします。

(1) 放射線治療部門の常勤のスタッフ数をご記入ください（2014年11月1日現在で在職中）。

① 放射線治療部門の専任医師	常勤	5 人
②放射線治療部門の診療放射線技師	常勤	9 人
うち、放射線治療専門放射線技師	常勤	0 人
③放射線治療部門の医学物理士	常勤	2 人

※②について、診療放射線技師が画像診断を兼務している場合は、0.5人換算としてください。

※診療放射線技師が医学物理士を兼任している場合は、勤務実態に応じてどちらかにカウントしてください。

※②「放射線治療専門放射線技師」は、日本放射線治療専門放射線技師認定機構認定の技師数をご記入ください。

(2) 放射線治療医のお名前（常勤・2014年11月1日現在で在職中）をご記入ください。

お名前（所属、肩書きも）	
① 中川恵一	放射線科 准教授
② 山下英臣	放射線科 講師

※①から順に掲載する予定です。ただし、誌面の都合ですべて掲載できるとは限りません。

Q5. 貴院で実施する放射線治療について特筆することをご記入ください。以下の欄は誌面に掲載するためのものではありません。取材先などの参考にさせていただきます（自由回答）。

ご記入いただきありがとうございました。

●ご記入された方のお名前やご連絡先などを教えてください。確認の際などに用いるもので、以下の項目は誌面に掲載するためのものではありません。

お名前	山下英臣
ご担当部署（診療科）名	放射線科
ご連絡先電話番号	
メールアドレス	

2014年11月10日までに、同封の封筒または下記番号にご返信ください
週刊朝日編集部「いい病院」事務局 返送先FAX：0120-559-096

問い合わせ先TEL：0120-559-874 メールアドレス：e-byoin@asahi.com